

2012年3月12日
株式会社グラフィン**MIPI標準M-PHY Linkを用いたエンドツーエンドのビデオ伝送実証：
米国Mixel社とグラフィン社協業による業界発のデモ**

韓国ソウルで開催されるMIPI国際会議においてMixel社と共同展示を行います。

イメージ・センサの評価用ハードウェアおよびソフトウェアをサポートしたシステムを設計開発しているトップ企業、グラフィン社(JASDAQ:6629 テクノホライズン・ホールディングス傘下)と携帯端末用ミックスド・シグナルの半導体IP (Intellectual Property: 知的所有権)を提供している米国Mixel^(r)社は、世界初のMIPI^(r)標準M-PHY Linkを用いたエンドツーエンドのビデオ伝送の実証を実現したことを発表しました。2010年に両社は、グラフィン社の評価システムに用いられる“将来有望とも言えるM-PHY”半導体を生産するための戦略的パートナーシップの締結を発表しました。その協業の結果として、この度Mixel社は、すべてのいかなる利用状況においてもサポートすることを想定したM-PHYテスト・チップを、業界初のシリコンとして成功に導きました。今回2012年3月13日に韓国ソウルで開催されるMIPI国際会議では、両者はMixel社製半導体とグラフィン社製画像評価ソリューションを使用してエンドツーエンドのビデオ伝送の実証デモを行います。

「Mixel社との協業は、私たちのためだけでなく、MIPIのエコシステム全体に対しても、利益がもたらされることに我々は胸を躍らせています」とグラフィン社の黒澤智明社長は述べています。更に、「両社の間で強固に結ばれた協力関係があったからこそ、この目標が実現したと言えます。我々はグラフィン社のMIPIテスト機器にM-PHYチップを搭載することを楽しみにしています。そしてMixel社とともに大量生産に向けて前進します」と付け加えております。

Mixel社のM-PHYの半導体IPは、TYPE IとTYPE II両方のオペレーション、AとBのデータ・レート、更にDigRF v4、UniPro 1.4、CSI-3、LLI、およびJEDECのUFSといった現在および将来に渡るすべてのMIPIのM-PHYの使用事例をサポートしています。MXL-MIPI-M-PHY-HSG2は、LS-G7を介した低速のGear0 (LS-G0)のみならず、High-Speed (HS) Gear1 (G1)とGear2 (G2)をサポートしています。IPは、M-PHY仕様のバージョン1.0をサポートしており、シリコンは一年以上かけて実証されています。

物理層、コントローラおよびMIPIプラットフォームを含むMIPIを完全準拠したソリューションを、Mixel社とグラフィン社はお客様に提供してまいります。なおこのMIPIプラットフォームは、半導体として実証されているD-PHYあるいはM-PHYが組み込まれたMixel社のドータ・カードとともに、M-PHYあるいはD-PHYとコントローラ機能のRTLが搭載された汎用FPGAボードが統合されています。

「Mixel社は、D-PHYとM-PHY両方のアプリケーション用のMIPIのIP市場で統率役に従事し続けます」と、Mixel社長兼最高経営責任者(CEO) Ashraf Takla氏はコメントしています。さらに「我々が長年にわたって懸命に育成し養成に努めたエコシステムというパートナーシップは、携帯端末市場で我々の成功の鍵があることが証明されています。韓国ソウルで開催されるMIPI国際会議でMixel社が重要な役割を果たしてきた多くのデモは、まさにその成功の証と言えましょう」と述べています。

「韓国ソウルで2012年3月に開催されるMIPI国際会議でMixel社が実現した様々なMIPI標準規格をサポートした数多くのデモを見てうれしく思っています」と、MIPI Alliance社長兼会長のJoel Hulouxは述べています。そして「現在まで幾年にもわたり数多くの貢献企業によって尽力された後にM-PHYが現実的になったことを確認することができ特に喜びを感じています」とコメントしています。

■お問い合わせ先:Mixel, Inc.
Han Mai
4423 Fortran Court, Suite 170
San Jose, CA 95134
(408) 436-8500 x115
marketing@mixel.com
www.mixel.com株式会社グラフィン
営業部 杉山芳広
TEL:03-5493-1211
E-mail : sales@g-in.co.jp
URL : www.g-in.co.jp

■ 米国Mixel^(r)社について:

Mixel社は、ミックスド・シグナルをベースとした携帯端末向け半導体IPのプロバイダーです。Mixel社が提供するミックスド・シグナルによる接続用インタフェースのIPは、幅広い製品群と高い性能を保持した品揃えとなっています。Mixelのミックスド・シグナルIPの製品ラインアップとしましては、携帯端末向けの物理層(MIPI RD-PHY、M-PHY、DigRFインタフェース、MDDI、およびLVDS)といったPHYとSerDes、汎用トランシーバ、高性能PLLやDLLのIPコアが含まれます。

■ グラフィン社について:

JASDAQ:6629テクノホライズン・ホールディングス傘下のグラフィン社は、画像処理技術のグラフィックス(Graphics)と情報通信技術のインタフェース(Interface)という2つの異なる分野を統合した製品を提供しようという理念の基、1993年1月に設立した会社です。画像入力ボード、イメージ・センサ製品の評価システム、そして産業用カメラをサポートしたデジタル入力/出力ボードを開発しています。特にMIPI Allianceのメンバーとして、MIPI CSI(CMOSイメージ・センサ)標準等をサポートした商品の研究開発、セールスプロモーション、製造の現場で必要とされる画像評価ソリューション・システムを提供しています。CMOSイメージ・センサから生成される画像を評価するシステム、グラフィン社製「GPirates」は、MIPI(Mobile Industry Processor Interface)標準に対応した4レーンのMIPI CSI-2規格に完全準拠しています。

■ MIPI (Mobile Industry Processor Interface) Allianceについて:

MIPI Allianceは、モバイル機器アプリケーションやエコシステムの開発において携帯端末デバイス用のインタフェース仕様を定義し、標準化を推進している世界な非営利団体です。MIPI仕様書は、新しい技術や新しい機能を迅速に展開させるハードウェアとソフトウェア・インタフェースの標準化を規定しています。詳細はwww.mipi.orgから参照することができます。

MIPI^(r)は、MIPI Alliance, Incの登録商標です。
MixelとMixelのロゴはMixel社の登録商標です。